

はじめに

かつて、日本が経験した右肩上がりの経済情勢においては、「稼いだら使って、お金がなくなったら、また頑張ればいい」という考え方でも、人生を大過なく過ごすことができました。

しかし、近年の長引く不況、金融機関の破綻、そして、女性の社会進出による少子化、高齢化社会においては、さまざまなリスクが発生するようになりました。

ある日、突然、会社のメインバンクが破綻し、自分の会社が倒産するとか、あてにしていた年金額が減額されるなど、いろいろな予期しない出来事が突然やってくるようになりました。

このような社会においては、もはや行き当たりばったりに過ごしていくことはできません。誰もが自分の人生設計を真剣に考えなければならなくなっています。

人生設計とは、一言でいえば人生の目標を決めることです。そして、その目標を達成するために、投資計画、税金対策、保障対策、相続対策、事業承継対策などトータルな資産設計・生活設計を検討する必要があります。

このようなプランニングを行う専門家がファイナンシャル・プランナーです。今後ますますその重要性が高まるものと予想されます。

本書の特徴

ファイナンシャル・プランナーについてバランスよく、トータルに説明しました

現在、ファイナンシャル・プランナーについて、多くの書籍が刊行されていますが、その中には、一面的なとらえ方をしているものもあります。ファイナンシャル・プランナーの業務は多岐に渡って

います。そのため、どうしても中身のバランスが監修者や執筆者の得意分野に偏ってしまう傾向があるからだと考えられます。

すべての範囲をバランスよくフォローしようとすると、複数の執筆者を集めなければなりません。今度は全体のクオリティーを一定以上に保つことが難しくなってきます。

そこで本書においては、監修者である私がまず本の方針を定め、全体のレイアウト決めをし、その上で、各執筆者に分担で執筆をお願いしました。そして、すべての原稿が揃ったところで再度、各原稿のレベルや分量を調整するという方法で完成させました。そのため、内容的にもレベル的にもバランスの取れたものに仕上がっているものと確信しております。

執筆陣はすべて実務に精通したスペシャリストを集めました。

すばらしい書籍はすばらしい執筆者によって生み出されます。本書の執筆はすべて資格学校で講師として活躍するだけでなく、実務家としても素晴らしい実績を持っている方々をお願いしました。

本書をお読みいただいた方の中から、一人でも多くの方にフィナンシャル・プランナーとしての第一歩を踏み出していただくことができれば幸いです。

2003年10月吉日

監修者 山田浩司